

令和7年12月末の交通事故の特徴

発生件数	17,368件（－1,105件）
死者数	85人（－6人）
負傷者数	22,016人（－1,590人）
飲酒事故	96件（±0件）

【発生件数】

- 発生件数は17,368件（－1,105件）で約1割減少
- 高齢者関連事故は6,029件（－394件）で約1割減少
- 1当高齢運転者の交通事故は4,375件（－128件）で微減
- 歩行者関連事故は2,099件（－203件）で約1割減少
- こども関連事故は621件（－34件）で約1割減少

【死者数】

- 死者数は、85人（－6人）で約1割減少
- 福岡地区が38人（＋3人）で最多
- 高齢者の死者数は49人（－2人）で全死者数の約6割を占め、うち75歳以上（後期高齢者）が33人（－3人）と高齢者の約7割を占める
- 1当高齢運転者による死者数は21人（－6人）で約2割減少
- 歩行中死者数は38人（－2人）で全死者数の約4割を占める

【飲酒運転事故関係】

- 発生件数は96件（±0件）と横ばい
- 飲酒死亡事故は3件（＋1件）と増加
- 筑豊地区が12件（＋11件）と増加
- 福岡市での発生が26件（＋4件）と増加
- 北九州市での発生が23件（－7件）と減少
- 酒酔いが5件（＋2件）、基準以下が9件（＋7件）と増加
- 死者数は3人（＋1人）と増加
- 6～8時が18件（＋5件）と最多

【自転車関連事故】

- 自転車関連事故は2,689件（－186件）で約1割減少
- 福岡地区が1,687件（－114件）で約6割を占める
- 交差点が1,755件（－150件）で約6割を占める
- 高校生が421件（－48件）で約2割を占める
- 飲酒運転の自転車（第1当事者・第2当事者）の事故は11件（＋6件）と増加

注1（ ）の数値は、前年比

注2 飲酒運転事故は、一般原付以上の運転者（第1当事者）が飲酒していた交通事故